

土屋文明記念文学館 第130回企画展

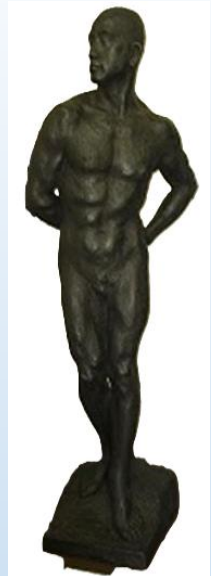
三島由紀夫のアオハル 中島飛行機からの出発

■会期 2026年**10**月**17**日(土)～2027年**2**月**7**日(日)
【休館日】火曜日(11/3は開館)、11/4(水)、12/28(月)～1/6(水)

■観覧料 一般500円、大高生250円、中学生以下無料

■展示概要(主な展示資料・みどころ)

- ◆三島由紀夫が勤労働員先の群馬から家族や友人に送った葉書
(初展示の資料を含みます。)
- ◆群馬出身の彫刻家・分部順治が制作した三島由紀夫の石膏像
- ◆珠玉の作品群につながるエピソードを貴重な原稿や創作ノートとともに紹介
- ◆三島由紀夫原作の舞台「船の挨拶」の映像を館内ロビーで常時上映



■関連行事

- ◆記念講演会
「終戦前後の三島由紀夫」 講師:佐藤秀明氏(三島由紀夫文学館館長) 11/15(日)
- ◆講演会
「転生する三島」 講師:島田雅彦氏(作家) 12/13(日)
「物語とどうあるか」 講師:朝比奈秋氏(作家) 1/24(日)
- ◆ワークショップ
「ぶんぶん文学、だんだんダンス～からだで読む、文学と身体が会えるワークショップ～」
講師:藤田善宏氏(ダンサー・振付家) 11/29(日)

PRESS
PREVIEW

- ・報道関係者の皆様を対象に、開幕前日の10/16(金)に展示内覧を受け付けます。
- ・当日は、本企画展監修者の佐藤秀明氏が来館予定です。
- ・展示内覧および佐藤氏への取材を希望される場合は事前にご連絡ください。